

長崎市第五次総合計画・前期基本計画

よりよい学習習慣の育成

- 1 学習への構え
(物構え、身構え、心構え)
- 2 授業で育てる学び方
「式見小学びのスタンダード」に沿った授業の積み重ね。
- 3 わかりやすい授業の積み重ね
「漢字・計算・音読」を柱に各学年に応じた内容を毎日継続させる。

本校の教育目標

四気満ちて笑顔の花咲く学校

めざす児童像

- ・やる気：自ら進んで勉強する子
- ・こん気：粘り強く努力する子
- ・げん気：元気に運動する子
- ・ゆう気：優しく思いやりのある子

よりよい生活習慣

- 1 進んで挨拶、履物そろえ
日々の指導や賞賛、児童会などのボトムアップ型の活動を組み合わせながら継続的に取り組む。
- 2 思いやりのある言動
「くん、さん」付けや「ありがとう、ごめんなさい」等、言葉が形に表れる実践を積み重ねる。
- 3 みんなで外遊び
縦割り遊びや全員遊びを通じた児童相互の交流を行う。

学力向上の方針と指導の重点

- ① 複式教育に向けた授業実践及び指導計画や教材作成
- ② 本校独自の「式見小学びのスタンダード」に沿った「学び方」の実践
- ③ 「まなびのタイム」における基礎・基本の定着 (Qubena の活用)
- ④ GIGA スクールに向けた取組
- ⑤ 個に応じた家庭学習の奨励 (家庭学習の手引きの活用)
- ⑥ 読書指導と心の指導、体力向上に向けた取組
- ⑦ 学力テストの結果の分析と弱点の強化

1 質の高い授業を目指して

<重点取組事項>

わかる・できる経験を積みませ、意欲的に学習する子どもを育てる。

わかる・できる授業の実践

- ① 本時の「めあて」を明確に示し、学習の見通しと到達点を認識させ、それに対応した「まとめ」を行う。
- ② 問題解決的な学習を通じた、自主的・自発的な学習形態の工夫
- ③ 相手の思いや考えを伝え合う場の設定とその工夫
- ④ 「書く」「話す」時間の保証
- ⑤ 机間指導による学習状況の把握と個別指導の充実
- ⑥ ICT 機器 (Chromebook) を活用した学習
- ⑦ まなびの跡が残るノート指導
- ⑧ 式見小スタンダード (学びのきまり・仕方) の徹底

授業を支える基本的な生活習慣や心の育成

- ① 生活リズムノートの活用
毎学期始めの2週間、生活リズムノートを記録し基本的な生活習慣の育成を図る。
- ② 道徳の時間を中心とした「心の教育」の充実

本校児童の実態 (学力調査等の結果から)

1	○ひらがな、10までの加減の計算は比較的正確に書いたり解いたりすることができる。(1年) ▲文章を書いたり文章問題を解いたりする際に、個人差がある。(1年)
2	○読書へ意欲的に取り組むことができる。(2年) ○簡単な加減の計算が正確にできる。(2年) ▲文章を読み返す習慣がついている。間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりすることができる。(2年) ▲時刻と時間において、午前と午後との関係を理解している。(2年)
3	国語 ○漢字を正しく読むことができる。(3年) ○経験や想像から書くことを見つけ、文章に表す。(3年) ○漢字を正しく読んだり書いたりできる。(4年) ○主語と述語の関係を理解している。(4年) ▲正しい漢字を書くことができる。(3年) ▲話を正確に聞き取ることができる。(3・4年) ▲自分の考えと理由や事例を明確にして文章に書く。(4年)
4	算数 ○大きい数のたし算、かけ算ができる。(3年) ○数の相対的な大きさについての比較ができる。(3・4年) ○小数の仕組みについて理解している。(4年) ▲長さや重さの単位において、単位の変化について理解している。(4年) ▲口を使った文章を表した図の構成を捉えたり、立式したりすることができる。(4年) ▲除法の文章問題の答えを求める。(4年)
5	国語 ○配当されている漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。 ○主述の関係を正しくとらえ、文章を読み取ることができる。 ▲文章の構成を正しくとらえ、段落相互の関係をとらえることで、書いていることの内容を読み取る。
6	▲与えられた情報を統合し、条件に合わせて文章に表すことができる。
年	算数 ○四則の計算を正しく行う。 ▲式に表したり、式に表されたりしている関係を考察する。 ▲分配法則などを活用し、計算をより簡単に正確に行うことができる。 ▲目的に応じてデータを収集し、分類整理し、その特徴を読み取る。

○…良かった点 ▲…課題となった点 (重点指導項目)

2 学習内容の定着と習熟

基礎・基本の徹底

- ① まなびのタイム (基礎基本の時間 朝：週2回) の活用による基礎基本の学力の定着
- ② 10分間読書 (朝：週2)
- ③ 定期的なテストの実施による定着・習熟の検証
- ④ 家庭学習の習慣化
・毎日：音読・漢字・計算
・実態に応じた課題

苦手分野の克服

- ① 学力調査の分析・考察を生かした対策・具体的な手立ての策定
- ② 家庭学習での自主学習の奨励
- ③ 玖島の杜・あじさいBOX等を活用した学習
- ④ Qubena を用いて個別の指導

【達成目標】

重点指導項目の内容の習熟度は70%以上を目指す。(学年末までに県からの検証問題やアシストシート等を活用し検証を行う。)